

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**広島学院創立60周年記念事業**

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>4.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.9</b>
<b>1 音環境</b>		<b>4.6</b>	0.15	-	-			<b>4.6</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>5.0</b>	0.40	-	-			
1.1.1 暗騒音レベル	立地環境: 周辺閑静な住宅地、山林及び幹線道路から離隔確保	5.0	1.00	3.0	-			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>		<b>4.2</b>	0.40	-	-			
1.2.1 開口部遮音性能	サッシュ遮音性能 T-2	5.0	0.30	3.0	-			
1.2.2 界壁遮音性能	界壁遮音が必要な室=客席(講堂) 間仕切 RC t200 (D-55)	5.0	0.30	3.0	-			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
<b>1.3 吸音</b>	吸音が必要な室=客席(講堂) 床・壁・天井 吸音材使用	<b>5.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.6</b>	0.35	-	-			<b>3.6</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
2.1.1 室温設定		3.0	0.60	3.0	-			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-			
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2.3 空調方式</b>	床吹き出し方式の空調方式としている	<b>5.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.8</b>	0.25	-	-			<b>3.8</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
3.1.1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-			
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>4.0</b>	0.30	-	-			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御	各窓にブラインド。各々にスクリーンあるいは庇を付加。	4.0	1.00	3.0	-			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
3.3.1 照度		3.0	1.00	3.0	-			
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>	個別パターンスイッチ、調光設備を設けている	<b>5.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.3</b>	0.25	-	-			<b>4.3</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>5.0</b>	0.50	-	-			
4.1.1 化学汚染物質	☆☆☆☆を採用 (室内仕上表 2-1~2-3参照)	5.0	1.00	3.0	-			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.3</b>	0.30	-	-			
4.2.1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
4.2.2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
4.2.3 取り入れ外気への配慮	周囲に汚染源が無く、排気口との離隔も確保している	4.0	0.33	3.0	-			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>4.0</b>	0.20	-	-			
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-			
4.3.2 喫煙の制御	敷地内禁煙である	5.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>		<b>4.0</b>	0.40	-	-			<b>4.0</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>4.0</b>	0.57	-	-			
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
1.1.3 バリアフリー計画	円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>4.0</b>	0.43	-	-			
1.2.1 広さ感・景観	生徒使用室(講堂)天井高さ 3.2m以上(断面図 9~11 参照)	5.0	0.50	3.0	-			
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
1.2.3 内装計画		3.0	0.50	-	-			
<b>1.3 維持管理</b>		-	-	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.31	-	-			<b>3.2</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.7</b>	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	化粧コンクリート打放し+フッ素系塗膜吹付	4.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	化粧コンクリート打放し	4.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	耐久性のある材料を採用	4.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	耐久性のある配管材料を採用	4.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	年間利用時間が短い	4.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備	節水器具を採用している。井水利用している。	4.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.6	0.29	-	3.6
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31	-	-
1	階高のゆとり	生徒使用室(講堂)階高 3.9m以上(断面図 9~11 参照)	5.0	0.60	3.0	-
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-
3.3 設備の更新性			3.7	0.38	-	-
1	空調配管の更新性	シャフト内配管、天井点検口を多く設置	4.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性	シャフト内配管、天井点検口を多く設置	4.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性	配管内配線としている	5.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性	配管内配線としている	5.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	4.5
1 生物環境の保全と創出		既存環境の保全・・・山林造成・伐採低減、既存シンボルツリー残置	4.0	0.30	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		既存建屋との調和、建物軸線・高さ・色彩の周辺景観調和	5.0	0.40	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30	-	4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	既存建屋との調和、建物軸線・高さ・色彩の周辺景観調和	4.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	既存敷地、緑地の保全	5.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制		建物形状の配慮、断熱性能の向上および窓の日射遮蔽を小さくしている	5.0	0.30	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		高効率機器を採用している ERR=10	4.0	0.30	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.15	-	3.4
1.1	節水	節水型衛生器具を採用している	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤未使用	4.0	0.33	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		床吹き出し空調により省エネを図っている	3.9	0.33	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.3	0.33	-	3.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.3	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制	適切な駐車場配置	5.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	廃棄物管理の校内ルール策定と管理	5.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.50	-	-
2	振動		3.0	0.50	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			5.0	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外照明、広告物照明はなく、ブラインド等により外部に漏れる光を抑えている	5.0	0.70	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	グレアを発生しない外壁設定 及び ガラス面配置の配慮(立面図参照)	5.0	0.30	-	-